

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
 C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード 582210)

※校園コードを入力してください。

学校名 大正東中学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 1,300,000 円 → 決算額 1,299,960 円

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
350,000	+	14学級	+	5学級	×	50,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	1,300,000					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

全市共通目標(小・中学校)
 ○2019年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
 ○2019年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について『当てはまる(どちらかといえば当てはまる)』と答える生徒の割合を80%にする。
 ○2019年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
 ○2019年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。
学校の年度目標
 ○ICT教育の充実を図るため、校内に必要な教室すべてにプロジェクターを設置する。

目標に対する達成状況(取組完了時)

いじめの解消率の93%以外の項については、すべて達成している。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容⑩【施策2、道徳教育の推進】
 プロの実演、競技を鑑賞したり実際に体験すること、また美術館など文化的、芸術的施設の見学により、本物の技術・芸術の素晴らしさを知る。また、正しい鑑賞の仕方やマナーを学ぶ。

取組内容⑤【施策6、ICTを活用した教育の推進】
 校長経営戦略支援予算を活用して、必要とするすべての教室へのプロジェクター設置を行う。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

芸術鑑賞会を年に1回以上行えるようにし、生徒の感性を高める。
 必要な教室すべてにプロジェクターが設置されたか。

指標に対する達成状況(取組完了時)

芸術鑑賞会を実施できた。
 必要な教室への設置はほぼ完了している。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

一昨年から取り組んできたICT機器の整備は、令和2年度でほぼ完了できる。
 今後は、教職員の活用能力を引き上げていく。

(校 園 コー ド 582210)
 学 校 名 大 正 東 中 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
【施策2、道徳教育の推進】 ・芸術鑑賞の実施（和太鼓）		
①予算内訳 13-0 公演委託料（和太鼓） 450,000円		
②決算内訳 13-0 公演委託料（和太鼓） 450,000円		
(2)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
【施策6、ICTを活用した教育の推進】 ・プロジェクターの設置		
①予算内訳 18-2 プロジェクター設置 @438,500×2台=877,000円		
②決算内訳 18-2 プロジェクター設置 @292,680×1台=292,680円 11-1 プロジェクター用遮光カーテン @15,120×10枚+16,200×8枚+17,280×16枚=557,280円		
(3)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
①予算内訳		
②決算内訳		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
 委員会使用欄は空欄としてください。